

図書も、雑誌も、メタデータも：一緒に考えてみよう！CAT2020以降の目録担当者育成  
質問回答一覧

※フォーラム当日にいただいた質問を一部編集しています。

項番	質 問	回 答
1	<p>非正規雇用職員や外部委託業者は、機関の推薦を得て受講申込を行うのは難しいです。 機関ではなく、個人単位での受講申込を検討していただけないでしょうか。</p>	<p>個人単位での研修受講申込のご希望があることは、目録業務担当者をめぐる状況も踏まえ、真摯に受け止めたいと思います。 しかしながら、本研修は個人のスキルアップにとどまらず、他の「目録業務担当者に対して、参照すべきツールの提示等、事例に応じた支援ができるようになる」を到達目標としていますので、機関としての考えに基づき、推薦・受講申込をしてきていただきたいと考えています。 非正規雇用職員・外部委託業者（機関から推薦）の受講実績もありますので、機関内で再度検討いただければと存じます。</p>
2	<p>非正規雇用職員や外部委託業者として目録を担当しています。旅費の支出が難しく、研修に参加できるか不明です。2021年度の目録システム書誌作成研修は、「事前課題⇒当日研修⇒フォローアップ研修（Web開催）」の構成とフォーラムで発表されました。 当日研修はこれまでの地域講習会のようにNIIと各大学が会場になるのでしょうか。またフォローアップ研修と同じく、Web開催はありますでしょうか。</p>	<p>当日研修については、旧来の目録システム地域講習会とは異なり、年1回（NIIもしくは関西地区）の開催を予定しています。 新型コロナウイルス感染防止の一つとして、Web開催する可能性もあります。 Web研修のほうが旅費の負担がなく、機関として派遣しやすいのではないか、という観点からも、検討させていただきます。</p>
3	<p>中級である目録システム書誌作成研修の受講の前提として、「1年以上の目録業務経験があること」とあります。本学ではローカルでの書誌作成はしておりますが、それは目録経験にはあたらないでしょうか。</p>	<p>目録システム書誌作成研修の受講要件では、「NACSIS-CATへの書誌データの作成・修正等の経験がある者」としています。ローカルのみでの書誌作成経験につきましては、NACSIS-CATが準拠する諸規則と齟齬がある可能性もあるため、本研修の受講要件の対象外となります。</p>
4	<p>目録システム書誌作成研修受講時にIAALの試験結果（例えば「図書初級」「図書中級」合格）は考慮されますか？</p>	<p>目録システム書誌作成研修では、あくまで、NII目録システム講習会もしくはNACSIS-CAT/ILLセルフラーニング教材の修了した方を受講対象者とします。IAALの検定の合格との互換性はありません。</p>
5	<p>雑誌担当者ですが、図書担当の方と同じ研修で、グループワーク等に参加して十分な議論が行えますでしょうか？</p>	<p>図書担当の経験があり、現在は雑誌担当ということであれば、問題ありません。 また、図書を担当したことがない場合でも、セルフラーニング教材等で、図書の知識を修得し、参加していただければ問題ないと考えます。 なお、雑誌の課題も取り扱いますので、図書担当の方も同様に雑誌の知識をもって参加することが、グループワークを円滑に進めるために望ましいです。</p>

項番	質 問	回 答
6	来年度研修の受講を考えております。私は目録のマネジメント担当者で、通常の手書入力担当のスタッフが行っています。この研修の教育内容をスタッフにも共有する何か有効な方法はありますか。	本研修は、「目録業務担当者に対して、参照すべきツールの提示等、事例に応じた支援ができるようになる」を到達目標としているので、実際の手書作成・修正時に担当スタッフの方が悩まれた際に、アドバイスをすることで共有できると思われます。
7	グループワークの雰囲気について教えていただけましたら幸いです。それぞれの受講者が考え出した記述（どれも間違っていない）の中から、ひとつを正解として選ばなければならない場合は、グループ内で議論をして決める流れなのでしょうか？	グループ内で議論をしていただきますが、正解を求めるという雰囲気ではありません。 各館の事情により様々な手書記述へのアプローチがあるかと思しますので、それらを共有していくような感じだと思います。 代表としてどなたかの手書を紹介したうえで、議論になった別のアプローチを発表しても大丈夫です。
8	「図書も、雑誌も、メタデータも」というタイトルでしたが、研修内容にメタデータ作成がどのように盛り込まれているのか、お聞きしたいです。	ERDB-JPのメタデータ作成を当日研修のグループ討議の課題として設けています。 また、NACSIS-CAT手書データ (CiNii Books) と各種サービスのメタデータ連携についても、事前課題として設けています。
9	フォローアップ研修ですが、1日の開催なのでしょうか？ 2～3時間を数回に分けて受講するのでしょうか？	フォローアップ研修は、半日（3時間程度）の予定です。2020年度の試行の結果、変更する可能性もあります。
10	手書作成・修正に関し、躓くポイントの共通項は多いので、図書館員が書き込める掲示板を設置し、疑問と解決を共有する場もあると良いのではないのでしょうか。	現状、NACSIS-CAT/ILL Q&A DB ( <a href="https://cattools.nii.ac.jp/qanda/">https://cattools.nii.ac.jp/qanda/</a> ) がありますので、こちらを活用していただければと思います。
11	業務の初心者向けの研修や育成に関して、新たに構想されている取組はありますか。 現状、セルフラーニング教材が初心者向けの入口になっていると思いますが、以前の職場で、初めに見るものとしてはかなりハードルが高いとしばしば意見をいただきました（WebUI前提の説明とローカルシステムとの対応関係の理解など）。	セルフラーニング教材は、「目録所在情報サービス参加機関の目録業務担当者が共通に理解しておくべき、総合目録データベースの構成、内容、データ登録の考え方(入力基準)を修得する。」を目的としています。目録規則等の研修ではないため、まったくの初心者向けではないこと、ご理解ください。 セルフラーニング教材から目録システム手書作成研修へのハードルも高いとのご意見をいただいています。「とにかく手書を作ってみる。相談できる仲間をつくる」、 「NACSIS-CAT/ILL Q&A DBにいろいろな事例があり詳しい解説があるので、参考にする」など試していただければと思います。
12	村上講師の資料もWebサイトに公開してください。	公開いたしました。